

# 主なマスタープラン

## 流域別下水道整備総合計画

【目的】  
将来人口や発生負荷量の推計等をもとに、公共用水域の水質保全のために必要とされる下水道整備計画区域や計画処理水質等を定めるもの。

【目標年次】  
概ね20～30年後(将来フレーム想定年次)

【策定主体】  
都道府県

## 都道府県構想

【目的】  
将来人口の推計や都市計画の内容等をもとに、効率的な汚水処理施設整備を行うための適切な整備手法等を定めるもの。

【目標年次】  
概ね20～30年後(将来フレーム想定年次)

【策定主体】  
都道府県

## 雨水対策に関する構想

【目的】  
ハード、ソフト、自助による総合的な雨水対策及び下水道施設の将来的な目標対象降雨等を定めるもの。

【目標年次】  
各地方公共団体の下水道に関する将来構想等において各々設定

【策定主体】  
下水道管理者 他

## 下水污泥処理総合計画 (バイオソリッド利活用基本計画)

【目的】  
下水污泥の再資源化に係る将来的な構想を定めるもの。

【目標年次】  
汚水処理普及概成時を想定

【策定主体】  
都道府県

調整

計画処理  
水質など

下水道の  
計画区域など

目標対象降雨など

汚泥処理の方針など

将来的な施設計画の  
根拠となる目標などを  
反映

## 全体計画

【目的】  
各マスタープランの目標に基づき、将来的な下水道の施設配置計画及び中間的な目標としての段階的な施設整備計画を定めるもの。

【目標年次】  
概ね20～30年後(将来フレーム想定年次)。  
整備計画の年次は、地方公共団体の上位計画や財政の見通し状況、下水道の残事業の内容等を踏まえ設定。

【策定主体】  
下水道管理者である地方公共団体

## 中期ビジョン

【目的】  
人口減少等の社会情勢の変化を踏まえ、主なマスタープランや全体計画の内容を見直し、これらを踏まえた概ね10年間の具体施策・目標を、優先順位も含め、地域住民への公表・意見聴取を経てとりまとめるもの。

【目標年次】  
概ね10年

【策定主体】  
下水道管理者である地方公共団体

相互に  
反映

## 主なアクションプログラム

### 事業計画

【目的】  
事業実施にあたり、短期間を対象とした施設配置計画等を定めるもの。

【目標年次】  
概ね5～7年(事業計画期間)

【策定主体】  
下水道管理者である地方公共団体

反映

### 他事業との取組との総合化も含めた 特定の地区、施策への重点化のための計画

- ・下水道総合浸水対策緊急計画
- ・下水道地震対策緊急整備計画
- ・合流式下水道緊急改善計画
- ・下水道資源循環利用計画